

# 広島県中小企業団体中央会 2022年2月分情報連絡一覧表

※本調査は3月の見通しについても調査をしている関係上、特に新型コロナウイルスの世界的感染拡大に対する3月以降のコメントも掲載しています。

(食料品)

## ●食料品

### 中国醤油醸造協同組合

2月の出荷量は前月比3.5%増加、前年同月比2.9%増加となり、売上高は前月比0.3%減少、前年同月比3.1%増加となった。

### 広島県東部菓子商工業協同組合

原材料及び資材、人件費をはじめ経費が高くなって収益を圧迫している。

新型コロナウイルスの影響が徐々に減り、全体の消費が増加することを期待している。

(繊維・同製品)

## ●繊維工業

### (一財) 広島県織物工業会

まん延防止等重点措置も終了し、今後景気が上向くことを期待したが、原油価格をはじめ、あらゆるものの値上げが起こりつつある。コストの増加が懸念され、売値に転嫁できるかが重要となる。

原料高の中でも、特に綿花の高騰が続いている。糸値も高騰しており、引き続き原料高にどう対応するかが課題となる。

### 広島アパテック協同組合

前月と大きな変化は無いが、縫製業等は依然として他企業の人員減少の影響による生産増加が反映されず、全体的には生産数量の底上げにつながっていない。

見通しは依然としてよくない。技能実習生を受け入れている事業者（主に縫製）は人員不足が顕在化してきているが、水際対策が緩和されていくことが決まったので今後、徐々に解消の方向に向かうと思われる。また、特に中国からの実習生は帰国要望が強い。

本来の主力製品以外のものでも注文によっては対応している。

(木材・木製品)

## ●木材・木製品

### 広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・令和4年1月の全国新設住宅着工戸数は59,690戸で前年同月比2.1%増加
- ・季節調整済年率換算値では820千戸で前月比2.1%減少
- ・利用関係別では、持家は18,130戸で前年同月比5.6%減少、貸家は23,083戸で同16.6%増加
- ・分譲住宅は18,154戸で対前年同月比で4.9%減少、また木造住宅は33,714戸で同0.9%増加

全体の住宅着工動向は全体では前年同月比11カ月連続の増加となったが、昨年1月に次ぐ6万戸割れで、持家は過去最低水準まで下落するなど、リーマンショック後並みの低水準となった。ウッドショックの収束は不透明で、木材価格は依然として高値水準にあり、今後の動向を注視していく必要がある。

<広島>

- ・1月の着工戸数は1,423戸で、対前年同月比20.8%増加、うち持家は380戸で同7.0%増加、貸家は639戸で同150.6%増加、分譲は400戸で同29.5%減少と、県全体の住宅着工動向は10カ月連続で増加
- ・地域別では広島市が737戸で前年同月比8.7%増加、東広島市が228戸で同11.8%増加、福山市は194戸で同123.0%増加、呉市は59戸で同37.2%増加、尾道は43戸で同104.8%増加と多くの地域で増加となった。

昨年春先のウッドショックによる木材不足もほぼ解消し、プレカット工場も順調な稼働を維持するものの、建材・住宅設備機器の供給不足や納期遅延の影響、先行きの需要を不安視する声も聞かれ、非住宅物件が集中し繁忙感が高まる工場がある一方で、稼働に余裕のある工場もあり、業者間の格差の拡大、来期の業況悪化を心配する企業もあり、引き続き今後の需給動向を注視していく必要がある。

### 福山木材協同組合

ウクライナ情勢の影響を受けて、ロシアからの木材が輸入されず、第2次木材ショックが起きる恐れがある。

### ひろしま木材事業協同組合

国産材の県内原木について、2月は断続的に雪が降り続いた影響は見られたが、ヒノキを中心に出材は安定していた。スギは合板工場における原木需要の拡大とともに、関西圏での相場高の影響を受け、県外からの市場への入札が増えたことにより、相場は強含みの状況が続いている。ヒノキは未だに出材は順調であるものの、需要は落ち着き始めており相場は徐々に下がりつつある。

県内プレカット工場各社は、1月後半からの低調な稼働となっており、定時稼働で推移している。合板不足・住設不足・大工不足が続いており、3月も定時稼働が続くそうである。ウクライナ情勢の影響を受けて、長期的に見てレッドウッド・ホワイトウッドやロシア赤松製品の供給不安や原油高を心配する声が増えている。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

材料費(用紙・インキ・版)に加え、電気料金等の値上げにより、コロナ禍での売上減少に輪をかけて利益率を圧迫している。

顧客との価格交渉に苦慮している。

初心に戻り、独自性を求め、同一競争になりにくい商いを構築していかなければならない。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

昨年来の自動車生産における減産基調は変わらず継続している。ここ1年間、原料及び運賃、エネルギーの高騰に対し、価格転嫁が思うように進まず、経営環境は苦しい状況にある。ここに来てウクライナ情勢の影響により、世界中の金融・経済・物流が大きく乱れ始めており、先行きに大きな不安感がある。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

全体的に、設備操業度が上昇傾向にあるが、海外からの部品調達状況が危惧される。3月から自動車関連は減産傾向である。

ウクライナ情勢の影響を受けて、原油が高騰し、樹脂原材料等資材の価格高騰が懸念される。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況

R4年2月 2,598m<sup>3</sup> (対前年比9.07%減少)

R4年1月 2,096m<sup>3</sup>

R4年2月 2,857m<sup>3</sup>

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

事業者により差はあるが、全体的には、業況はやや好転している。しかし、現在の零細、中小企業の直近の課題は、人手不足が深刻化していることである。

コロナ禍により、外国人労働者の入国困難な状況に苦慮している模様だ。しかし、一方では国内の若者の地元への就職希望が旺盛になるような、各社の企業努力不足も少なからず感じる。

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、前月比10%増加、前年同月比50%増加となった。

出荷時期の変動が売上増加の要因であり、特段の状況変化ではない。

年間を通じては、昨年度と同程度の推移である。

受注額の増加傾向に変化はなかった。

(電気機器)

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合(電気機械器具)

今月の売上は前月比5%増加、前年同月比10%増加となった。

電子部品の価格が上昇し、仕入れ困難な状況が続いている。

取引条件は悪化傾向だが、受注の好調がカバーし、売上にプラスの影響が出た。

部材調達の困難と価格上昇を要因とする売値の値上げ交渉が必要だが、動きは鈍い。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度が高い主要顧客(マツダ)の業況(生産台数)に比例している。

半導体の影響は一旦は解消されたが、世界では局所的に部品供給が不安定であり、一部減産となっている。今後、大幅な減産はないと思われるが、当面は低迷する可能性がある。今春立ち上げの新型の大型SUVの生産準備は、人的資源も含めて引き続き実施中である。

・2月の国内自動車販売台数は全需が355千台、前年同月比18.0%減少と8ヶ月連続での前年割れとなった。登録車も同18.6%減少と6ヶ月連続で前年割れとなり、軽自動車も同17.0%減少と9ヶ月連続で前年割れとなった。マツダ車は同2.7%増加とわずかに前年超えとなった。

・アメリカの1月の全需は1,003千台で、前年同月比9.6%減少と6ヶ月連続で前年割れであった。マツダは同16.5%減少と、前年同月を5ヶ月連続で下回る結果となった。

- ・欧州の1月の全需は948千台で、前年同月比2.1%減少と7ヶ月連続で前年を下回った。マツダ車は同20.4%増加と前年同月を上回った。
- ・中国の1月の全需は2,370千台で、前年同月比5.3%減少と10ヶ月連続で前年割れとなった。マツダ車も同7.0%減少と10ヶ月連続で前年割れとなった。
- 引き続く半導体の影響や天候不順で車両供給の滞りが継続し、マツダの12月の海外販売は、欧州以外は全体的にマイナス。86.3千台、前年同月比5.1%減少となり、6ヶ月連続で前年割れとなった。
- ・マツダ車の1月の輸出台数は、前年比11.8%減少となった。
- ・マツダ車の国内生産台数は、前年同月比0.9%減少とコロナの影響での供給不安が部分的に続き、前年比で若干マイナスだが、来期に向けては回復方向にある。

#### 八本松工業団地協同組合

調達部品の確保が不安定なため、年度末に増産傾向が見込めない状況である。  
不安定な状況が続くことで、昨年より生産量が低下する可能性がある。

#### ●輸送用機械器具（造船）

##### （一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

#### 中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和4年1月の船舶建造許可実績は4隻、176,550総トンであった。（前月2隻78,100総トン。前年同月2隻、43,100総トン。）  
なお、内訳は国内船は1隻で貨物船、輸出船は3隻で貨物船であった。

##### （卸売業）

#### ●卸売業（総合）

##### 協同組合広島総合卸センター

原油などの燃料や物価の上昇及び為替の変動に対する短中期的な懸念が大きい。仕入れコスト上昇による販売価格転嫁は準備中である企業が多い。

物流拠点の整理統合や拡販に向けた事業用地取得の需要に対し、県内市内で適時・適正規模での物件供給が相当少ない状況が続いている。

#### ●卸売業（生鮮）

##### 広島水産物仲卸協同組合

新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きい。

#### ●卸売業（電設資材）

##### 広島県電設資材卸業協同組合

部材供給不足による商品調達が長引き、当初の予定では2月頃には安定する見通しであったが、6月頃まで不安定な状況が続く見通しである。

主に、照明器具、ブレーカー、ケーブル、エコキュートが滞っている状況である。

#### ●卸売業（家具）

##### リビズ株式会社

2月は新型コロナウイルス感染拡大に対するまん延防止等重点措置のため売上が減少となった。

#### ●卸売業（量・敷物）

##### 広島県藁製品商業協同組合

コロナ禍の影響もあり、販売量は前月を下回った。

2月までの累計では、数量が前年比10.5%増加と前年を上回っているが、まだ明るい兆しが見えない。  
内訳は、びんご特撰は前年同月比で8.8%減少している。一方、中国産の畳表は2月までの扱枚数64,928枚となり前年比22.7%増加となった。中国の春節、オリンピックの前倒しによる増加が考えられ、翌月の扱枚数の減少が懸念される。

##### （小売業）

#### ●各種商品小売業

##### 協同組合三次ショッピングセンター

まん延防止等重点措置の期間延長による飲食店の休業、不要不急の外出自粛によってアミューズメント施設が売上不振となった。今年は降雪が多く高齢者の来店客数減少などマイナス要因はあったが、セール実施により月間売上は増加した。

まん延防止等重点措置が終わり周年祭イベントを大々的に開催予定である。

省エネに取り組んでいるが、それを上回る電気料金的大幅値上がり、重油の値上がりが大きな負担となっている。

#### 広島生鮮三品連絡協議会

中央市場2月の取扱高は、水産部が前年比4.7%減少、青果部は前年比6.4%減少となった。

県のまん延防止等重点措置が継続され、飲食店の酒類提供が緩和されるが、営業再開する店舗は少なく、納入業者の低迷が継続していることから、納入業者の間にも格差が出始め、事業継続が厳しくなった業者もある。

鍋料理に使う生鮮品などが安い、じゃがいも・玉葱・牡蠣など生産量が減少した品目は高くなっている。新型

コロナウイルスの水際対策で外国人技能実習生などが入国できず、生鮮品の生産現場に人員が不足していることから、生産高に影響が出ている。

原材料の高騰などの影響で、過去とは次元の違う食品値上げが止まらない状況である。また、ウクライナ情勢の影響を受けて、農産物やエビ・カニなどの海産物の調達が難しくなることに加え、航空便の欠航で売れ筋のノルウェーサーモンが品薄及び更なる高騰が懸念されるなど、営業を取り巻く状況は厳しさが増すばかりである。

#### ●家庭用電気機械器具小売

##### 広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比7%減少であった。

商品別では、薄型テレビ同5%減少、DVD同16%減少、冷蔵庫同1%増加、洗濯機は増減無し、IHクッキングヒーター同1%減少、エコキュート同4%減少、エアコン同10%減少、炊飯器同9%減少、空気清浄機同44%減少となった。

更に営業活動制限が長期化した、まん延防止等重点措置の終了により、イベント催事実施に期待している。

依然として一部商品の商品供給面は改善の目処がたたない中、以前の発注済み商品が少しずつ入荷し始めている状況である。

#### ●その他の小売業（燃料）

##### 広島県石油商業組合

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、年初から原油の高騰が続く、石油製品の価格も上昇している。ウクライナ情勢の影響のみならず、世界的な脱炭素政策が急速に進んでいることも要因であり、簡単に解消されるような問題ではない。

石油製品の使用量が減り、来店頻度が低下することで、石油製品以外の売上も低下しているようである。

燃料油価格激変緩和対策事業の上限価格大幅引き上げが発表されたが、小売販売事業者にとって苦しい資金繰りの状況が続いていることに変わりはない。

（商店街）

#### ●商店街（各種商品小売業）

##### 広島金座街商店街振興組合

再度のまん延防止等重点措置により、人出が減少したため、売上の落ち込みが大きい。

##### 呉本通商店街振興組合

まん延防止等重点措置が延長になったものの、呉市では2月中の感染者数が平均で60名を超えており、先行きの見通しが立ちにくい状況にある。そのため、休業を延長した店、引き続き時短営業で対応する店、さらに来店者も規制慣れで、沈滞ムードが漂っている。

そうした中で、海上自衛隊向け優待サービスを行っている「くれフレンドシップパートナーズ」参加店が中心となり、呉中通（れんがどおり）アーケード内でイベントを開催し、吹奏楽、各種発表展示、物産展・屋台出店などを計画している。

一方、組合員の一社が2月末で閉店した。売上げ不振による倒産ではないかと推測される。また、本通商店街で永く商売をしていた額縁店（昭和11年創業）が店主の高齢化と後継者不在により3月末に閉店する。

（サービス業）

#### ●自動車整備業

##### 広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、前月比41.3%増加、前年比0.3%減少。

車検場収入は、前月比38.8%増加、前年比1.0%増加。

重量税・登録印紙の売上は、前月比14.5%増加、前年比8.2%増加。

#### ●広告業

##### 広島県広告美術協同組合連合会

事業者によって差はあるが、例年に比べて売上は低い。

今後、年度末に向けて受注増加の見通しである。

#### ●警備業

##### 広島県警備業協同組合

新型コロナウイルスの影響を受けている。

（建設業）

#### ●工事業

##### 広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、前月比69.2%増加、前年同月比12.5%増加、前年累計比24.8%減少と非常に低調であったこの1年の中では売上が増え、景況感は、少し改善した。前月時点で年度累計前年比で70%程度の予測であったが、75%程度見込めそうである。

新年度以降も今年度同様に、物件についてあまり良い情報がなく、厳しい推移が続くと思われる。

##### 福山地区電気工事業協同組合

2月分の工事受付件数は、前月比54.9%増加、前年同月比17.2%増加となった。累計で前年度とほぼ同じ件数となった。

(運輸業)

●道路貨物運送業

松永地区トラック事業協同組合

2月は1月と同様に稼働日数が少なく、売上高で前月と比較すると大きな変化はないが、前年同月比では減少している。

新型コロナウイルスによるものと特定することはできないが、原材料価格の上昇等で食品などあらゆる物が値上がりしている。値上げの原因に、物流費の上昇と言われているが、運賃値上げは全く実現できていない状況である。軽油価格が毎月値上がりしており、このまま運賃値上げが実現できないと、荷主から要請があっても貨物を受託することが難しくなりそうであり、不安である。

広島東部トラック運送事業協同組合

2月の荷動きは、新型コロナウイルスの関係で、飲食業のまん延防止等重点措置と自動車関連の半導体不足の影響により、工場生産を2日間稼働停止したため物流量が減少した。

2月の売上高は、高騰した軽油価格を、運送料に反映することが出来、前月比、前年同月比ともに増加した。

軽油価格は、政府が原油価格の高騰抑制を目的とした補助金制度(5円)を実施したが、効果は限定的であり、ウクライナ情勢の影響を受けて、ロシアからのエネルギー供給停滞への警戒感から価格は高騰した。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進み、若年船員の育成が進まないなど、船員不足の状況が続いている。

また、運賃・用船料の改善が依然として見られない状況である。

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比については、公的評価作業により一般評価作業を控えていた分、年度末に向けて一般評価作業が増えており、収益等は好転している。前年同月は特に変化なし。

度重なるコロナ禍の時短要請で流川・薬研堀歓楽街の飲食店業界は、小規模店舗は休業補助金で一息ついており、中規模業者、チェーン店は営業を行っているが、客足はいま一つで依然厳しい業況が続いている。

不動産市場については、コロナ禍の影響による先行き不透明感はあるものの、低金利政策等により戸建て需要は堅調に推移しており、依然として建築素地不足状況が続いている。又、建設業者、建売業者、リフォーム業者等は依然として建築資材の納品遅延(半導体不足による給湯設備・台所設備・トイレ設備等の製品不足)により、完成工事の遅れが出ている。